

## 【予算案等提案理由】

続いて、今回提案いたします新年度予算案について申し上げます。

一般会計のほか、9件の特別会計、2件の公営企業会計の予算案を上程しております。いずれも、厳しい財政状況を考慮しつつ、主要施策として申し上げました取り組みを進めるため、予算を編成したところであります。

本市の財政事情は、収入の多くを依存している地方交付税が今後大きく減収となる見込みとなっており、財政運営は、厳しさを増すことが予想されます。本市においては、財政健全化に向けた取り組みを強化しているところであり、当初予算の編成にあたっては、事業に要する一般財源について、義務的経費を除いたものに対し、前年度予算から10%削減を念頭に予算の編成に努めたところです。

一方で、「第2次大田市総合計画」に掲げた「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち‘おおだ’」を目指して、将来の大田市にとって必要な投資となる部分については、重点配分しております。

なお、その財源につきましては、国県補助金などの新たな財源確保に努め、特定目的基金も積極的に活用することとしております。

この結果、新年度一般会計当初予算の総額は、対前年度18億5千1百万円、8.2%増の、245億6千万円となっております。

特徴的な事業を申し上げますと、震災からの復旧、防災・減災を図り、暮らしの安全を守るための西部消防署と三瓶出張所の整備事業、都市基盤づくりとしての街路事業や第2期ケーブルテレビエリア光化促進事業、産業づくりとしての仁摩地区道の駅整備事業、大田市輝く若者ビジネスプランコンテスト、全国植樹祭

推進事業、園芸用ハウスの設置やリースに対する支援等を行う持続的生産強化対策事業、豊かな心づくりとしての各種の教育魅力化推進事業、中学校大規模改修事業、暮らしづくりとしての新大田市立病院の建設事業や多文化共生事業、自然・生活環境づくりとしての新可燃ごみ共同処理施設整備に係る負担金などが挙げられます。

あわせて、U・Iターン者、特に若者を対象とした定住促進事業などの定住施策や地域子育て応援事業など子育て施策についても、引き続き推進するとともに、島根県西部地震対策や国の経済対策にも取り組んでいくこととしております。

なお、昨年の決算審査特別委員会の指摘事項等については、これに留意しながら予算編成を行ったところであり、その対応状況については、お手元に調書を配布いたしております。

次に、平成30年度の補正予算案については、一般会計のほか、7件の特別会計、1件の公営企業会計の補正予算をそれぞれ上程いたしております。

一般会計については、新たに計上する畜産競争力強化対策事業、国の補正予算に伴う都市公園整備事業や県営土地改良事業負担金の増額、島根県西部地震関連予算をはじめとした各種事業の実績減などにより、総額1千5百万円余の減額補正をお願いするもので、補正後の一般会計の予算総額は、261億2千4百万円余となっております。

以上の予算案のほか、条例案件、一般案件の諸議案を本会議に提案いたしております。詳細については、所管部長並びに担当課長に説明させますので、何とぞ、慎重にご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。